

2005 年度 小委員会活動成果報告

(2006 年 2 月 20 日作成)

小委員会名	歴史的建築リスト整備活用小委員会		主 査 名：川向 正人 就任年月：2003 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築歴史・意匠本委員会		委員長名：吉田 鋼市 主 査 名：
設 置 期 間	2003 年 4 月 ~ 2007 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (簡条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 検索および更新可能なインターネット上の歴史的建築データベースの維持管理。また、データベース自体の時代の要求に応じたシステム更新の検討。 ・ 支部、大学、研究機関、自治体などの人的ネットワークの構築。 ・ 災害時の基本台帳、あるいは地域における生涯学習の基礎資料としてのり活用を考慮に入れたシステムおよびリストの整備、ならびに、地域の専門家・一般住民の参加プログラムの策定。 		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：無		
	池上重康(北海道大学) 永井康雄(東北大学) 川向正人(東京理科大学) 川上光洋(東京理科大学) 山中章江(東京理科大学) 小沼景子(文化庁)	水沼淑子(関東学院大学) 渡邊研司(東海大学) 足立裕司(神戸大学) 多田善昭(多田善昭建築設計事務所) 佐藤正彦(九州産業大学)	
設置 WG (WG 名：目的)	なし		
2005 年度予算	240,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： http://GLoHB-ue.eng.hokudai.ac.jp/	

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	無
講習会	無
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	無
大会研究集会	1. 歴史的建築リスト DB の活用と直面する課題 参加者数 60 名 ~ 地域・大災害・協働 ~ 同上
対外的意見表明・パブリックコメント等	無
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 東北支部主催シンポジウムならびに大会研究協議会をとおして、本 DB システムの運用ならびに活用について、改善点ならびに今後の展望について議論された。 2. 特に、東北支部・関東支部において、DB 運営のための WG 組織の設置ならびに改変が行なわれ、継続的にデータを入力できる体制が整いつつある。 3. 上記シンポジウム・研究協議会を通じて、主に発行済みの報告書に記載されている莫大な量のデータを入力する必要があることが、顕在化した。
委員会活動の問題点・課題	1. 支部を主体とした DB 運営組織活動について支部により温度差が大きい。 2. 市町村合併による所在地名称の変更、新規の文化財指定・登録など、逐次更新される情報をリアルタイムで DB に反映することが、なかなか出来得ないことにたいする、葛藤。 3. DB のシステム更新ならびに、単純入力作業にたいする金銭的援助(各種助成金の申請)を上手く運営出来ていない。